

R6203SB FASST-2.4GHz (7ch/8ch/10ch/Multi-ch) 方式対応 S.BUS 出力+従来出力(CH1-3) / ハイスピード 受信機

この度は弊社 FASST-2.4GHz システム対応受信機 R6203SB をお買上げいただきまして誠にありがとうございます。この R6203SB には S.BUS システム用の出力ポートおよび従来システム用のチャンネル出力 (CH1-3) が搭載されています。S.BUS システム対応のサーボやジャイロ等の他、従来システムのサーボ等も併用することが可能です。

また、送信機とのリンク操作時、FASST-2.4GHz 方式 7ch または 8ch/10ch/Multi-ch モードの信号を自動判別します。その他、ハイスピードモード (高速応答動作モード) を選択できます。

ハイスピードモード使用時の注意 (従来出力)

△注意

⊘ **ハイスピードモード使用時、従来システム用の 1~3 チャンネル出力には、アナログサーボは使用できません。**

■ アナログサーボを使用するとサーボ故障の原因となります。弊社製デジタルサーボ (ブラシレスサーボを含む) または S.BUS サーボを使用してください。

■ アナログサーボはノーマルモードでご使用ください。

※ 弊社製以外の EP アンプをご使用の場合、ハイスピードモードで動作しない場合があります。この場合は、ノーマルモードに切り替えてご使用ください。

● この受信機は FASST 方式 7ch または 8ch/10ch/Multi-ch モードの送信機およびモジュールに対応します。

アンテナ搭載時の注意

△警告

❗ **2つのアンテナ (先端 30mm) がお互いに 90 度の位置関係になるように搭載する。**

■ R6203SB の 2 つのアンテナはダイバシティアンテナを構成し、受信状態の良いアンテナの信号が自動的に選択されます。

カーボン胴体機に使用時の注意

△警告

❗ **アンテナ部分 (先端 30mm) は完全に機体の外側に出すこと。**

■ 外側に出したアンテナ部がフライト中に風圧等で機体内部に戻らないよう注意すること。

使用電源について

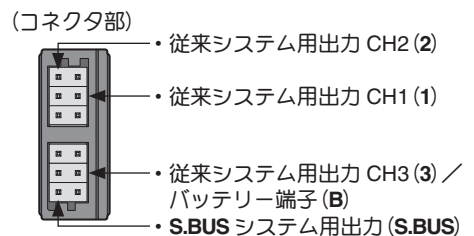
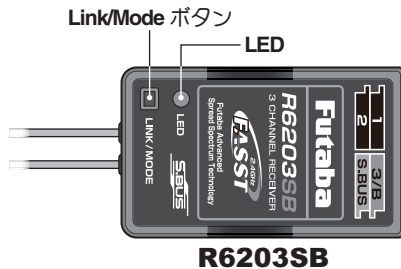
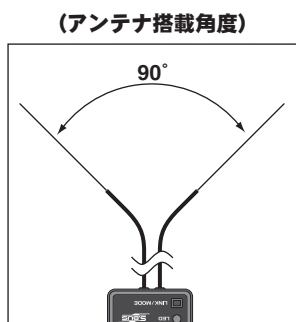
定格 4.0V 以下の電源の使用はお勧めできません。やむを得ずこのような低電圧の電源を使用する際は以下の点に留意してください。

■ フェールセーフ機能は OFF にする。さもないと、バッテリーフェールセーフ機能が動いてしまい、通常飛行の妨げになります。

■ 飛行前にアンプやサーボを最大負荷状態にしたときでも受信機が正常に動作していることを確認してください。受信機は 3.5V 以下になると正常に動作できなくなります。従って、この確認は非常に重要です。

■ アンプやサーボがこのような低電圧でも正常に動作することを確認してください。

また、サーボの定格を超えない電源を使用してください。



受信機 LED 表示

緑色	赤色	状態
点灯	点灯	初期化中 (ハイスピードモード時)
消灯	点灯	無信号時
点灯	消灯	通常動作時
点滅	消灯	受信信号の ID が不一致
交互点滅		エラー表示。 電源再投入で回復できない場合は弊社カスタマーサービスセンターへ点検・修理依頼してください。

[R6203SB 受信機仕様]

FASST-2.4GHz 方式 (7ch/8ch/10ch/Multi-ch モード) 対応、S.BUS 出力+従来システム用出力 (CH1-3)

- ・アンテナ：ダイバシティ方式
- ・サイズ/重量：22.5x37.4x9.3mm / 7.2g
- ・定格電圧：3.7 ~ 7.4V (使用可能電圧範囲：3.5 ~ 8.4V)

※ BEC 電源を使用する場合、容量がご使用のサーボ等の条件に合っていることが必要です。また、乾電池は使用しないでください。誤動作の原因となります。

※ バッテリー F/S 電圧は 4 セルニッケド/ニッケル水素バッテリー用に設定されています。その他バッテリーを使用の場合、バッテリー F/S 機能は適正に動作しません。

※ F/S 機能は、Multi-ch モード時、全チャンネル設定可能。ただし、送信機側の機能により異なります。7ch モード時は 3 チャンネル目のみ設定可能。

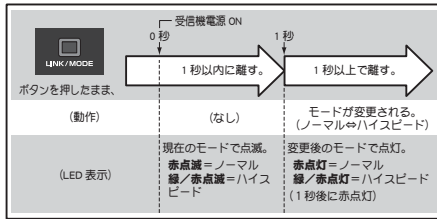
※ S.BUS 出力は、7ch モード時、最大 7ch 迄対応。8ch/10ch/Multi-ch モード時、最大 16ch + DG1/2ch 迄対応。ただし、使用可能チャンネル数は送信機により異なります。

ハイスピードモード／ノーマルモードの変更

ハイスピードモードまたはノーマルモードへの変更は下記の方法で行ってください。(初期設定はノーマルモード)

- 1 受信機電源を OFF にします。
- 2 Link/Mode ボタンを押した状態で、受信機電源を ON にします。その後、Link/Mode ボタンは 1 秒以上保持します。(LED が現在のモードで点滅します。)
- 3 ボタンを離します。
- 4 受信機電源を OFF にします。

※上記の操作でハイスピードモードとノーマルモードを交互に切り替えることができます。



【動作モードの確認】

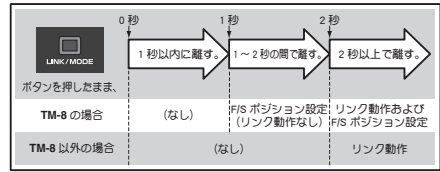
受信機側のみ電源を ON にして、LED で動作モードを確認することができます。

- ※ 受信機電源 ON 後：
- ・赤点灯の場合はノーマルモード
 - ・緑/赤ともに点灯 (2 秒後に赤点灯) の場合はハイスピードモード
- ※ 周囲で FASST-2.4GHz 送信機が使用されていない状態で確認してください。周囲で FASST-2.4GHz 送信機が使用されている場合、上記のように一瞬点灯後、直ちに通常の状態表示に切り替わります。

リンク操作

Link/Mode ボタンによりリンク操作を行います。

また、TM-8 モジュールを使用時、F/S ポジションの設定が可能です。



※リンク操作時、送信機の FASST-2.4GHz モード (7ch または Multi-ch モード) を自動判別します。

※リンク操作、F/S ポジション設定方法等の詳細は、ご使用の送信機またはモジュールの取扱説明書をご覧ください。

警告

⊘ リンク操作時は動力用モーターが接続された状態やエンジンがかかった状態では行わない。

■ 不意にモーターが回転したり、エンジンが吹け上がりすると大変危険です。

⚠ リンク操作が完了したら、一旦受信機の電源を OFF とし、リンクした送信機で操作ができることを確認する。

● S.BUS システムについて

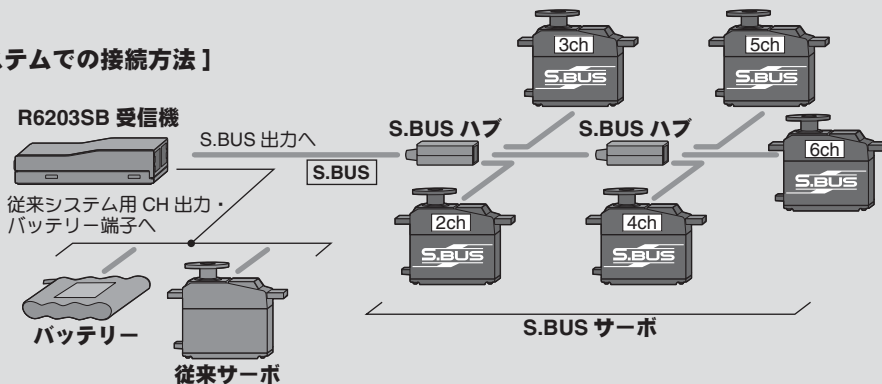
S.BUS システムでは従来のラジコンシステムとは異なり、操作信号は受信機からサーボやジャイロなどの S.BUS 対応機器へデータ通信により送信されます。

このデータには「チャンネル 3 のサーボが 15 度に、チャンネル 5 のサーボは 30 度に」といったように複

数の機器への指示がまとめて含まれており、S.BUS 対応機器はその中から自分に設定されたチャンネルの部分のみを実行します。

このため、サーボ等の複数の S.BUS 対応機器を同じ信号線に接続して使用することができます。

【S.BUS システムでの接続方法】



- ※ S.BUS サーボを S.BUS 出力に接続する場合、チャンネル設定が必要です。この場合、チャンネル設定機器 SBC-1 または CIU-2 を使用して S.BUS サーボにチャンネル設定します。例えば、S.BUS サーボに CH2 を設定した場合、従来システム用出力の CH2 と同じ動作となります。
- ※ R6203SB 受信機の場合 S.BUS サーボと従来のサーボとの併用も可能。ただし、S.BUS 出力には従来サーボは対応していません。
- ※ S.BUS サーボを別電源で使用する場合は、S.BUS 延長コード (2 分岐/別電源用) を使用します。接続方法は延長コードに付属の取扱説明書をご参照ください。